

メン選手に頑前中イブを元と性と応でしレしを仮集ぶした瀬さん球中

し



2年ぶりに夫婦で出場し、ゴールの喜びをかみしめる篠ヶ瀬さん夫婦

日ドラゴンスのユニホーム、頭や手に青色のポンポンを付けた応援スタイルで5キロを走った。

奇抜な格好の一方で、ゴールした昌美さんの目には涙が。昨年は大会直前に康司さんが心筋梗塞で倒れ、生死の境をさまよったからだ。「健康第一」と康司さん。昌美さんは「私たちにとって節目の大会。無事に走るこゝろができて良かった」と感極まっていた。

アグレミーナ浜松の6選手 市民と走り チームPR



○…3キロの部には、フットサルFリーグのアグレミーナ浜松の選手六人が出場。写真。紺とオレンジのユニホームで走ってチームをPRした。

小学生の部と、ファミリーの部にそれぞれ三人が参加。子どもたちやファンに声をかけながら思い思いのペースで走っていた。

小学生の部に参加した蓮池紳吾さん(左)は

選手に浜松大生

疲れ癒やす
ストレッチ

「アグレミーナをアピールしよう」と最初は先頭を走った。でも子どもたちが速くてびっくり」と楽しんだ様子。赤坂孝さん(右)も「フットサル教室で教えている子もいて楽しく走れた」と話していた。

○…アスレチックトレナーを目指す浜

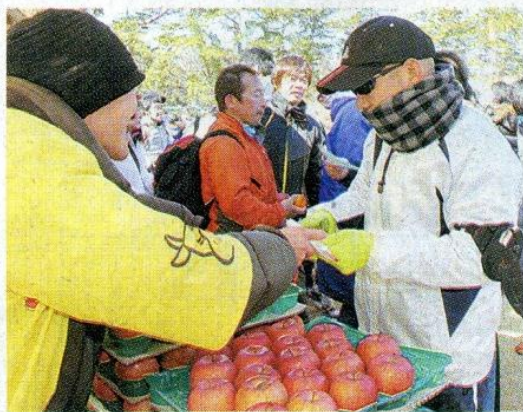


松大学生のサークルで、疲れを癒やした。CATSは、自由広場のテントにベッドを準備。全力を出し切りゴールした選手足をストレッチし

ボランティアで参加した学生二十一人は、選手にけがや痛みがないか話しながら、じっくりとストレッチ。サークル代表の斎藤春奈さん(心身マネジメント学科三年)は「選手がリラックスして笑顔で大会を終えてくれた。ばうれしい」と話していた。

リンゴ、ミカン配布

青森と浜松のJA



真っ赤に色づいたリンゴをもらつ出場者ら

○…リンゴとミカンは「頑張って走り抜で元気を出して」。Jき、ゴールしたら食べます」と笑顔を見せ